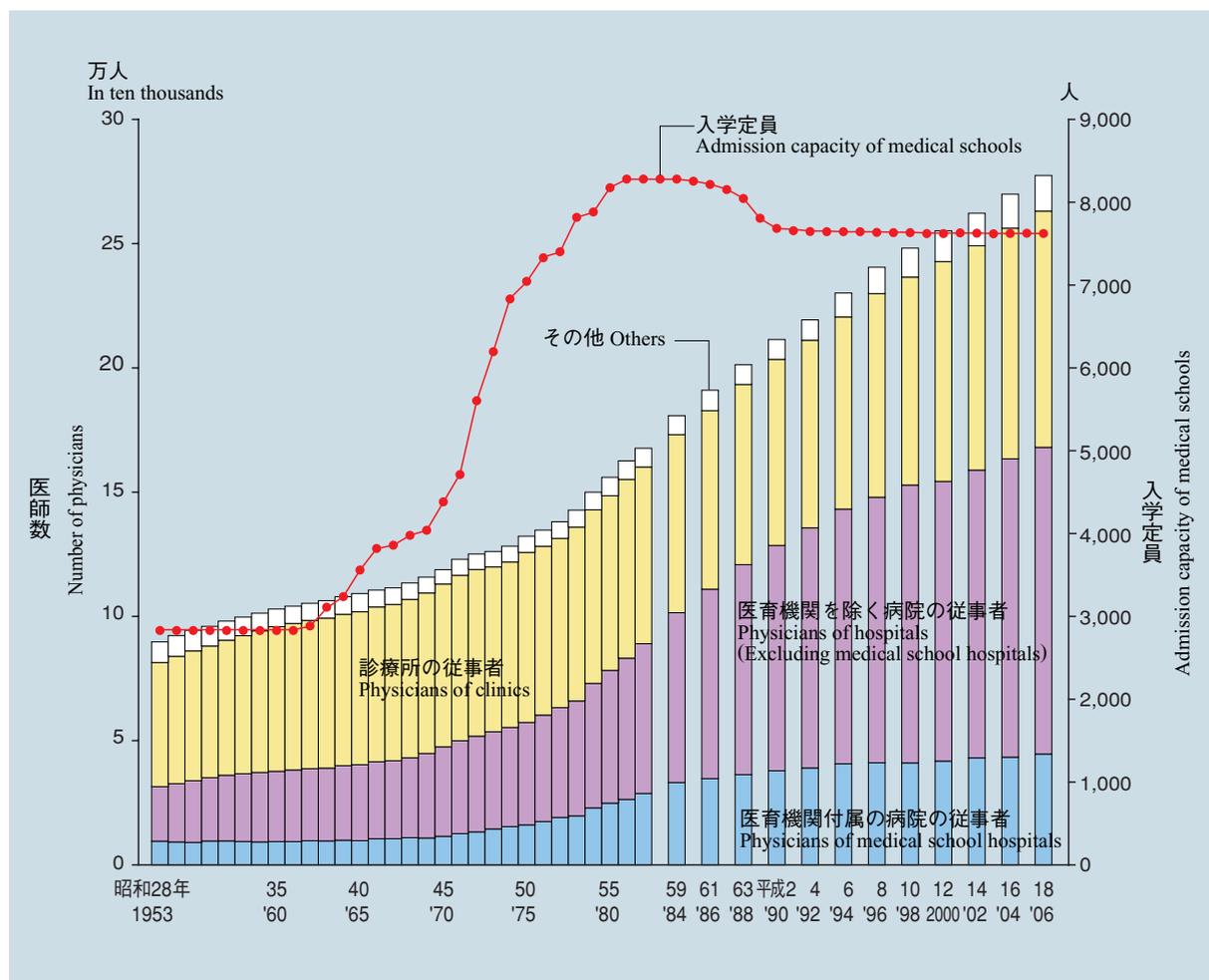


3. 保健医療関係者の動向 Human Resources for Medical Care

平成18年の医師数は27万7927人
従事している施設の種別では、いずれの施設においても増加傾向

3-1 医師数と大学医学部の入学定員の年次推移

Trends in the number of physicians and admission capacity of medical schools, 1953-2006

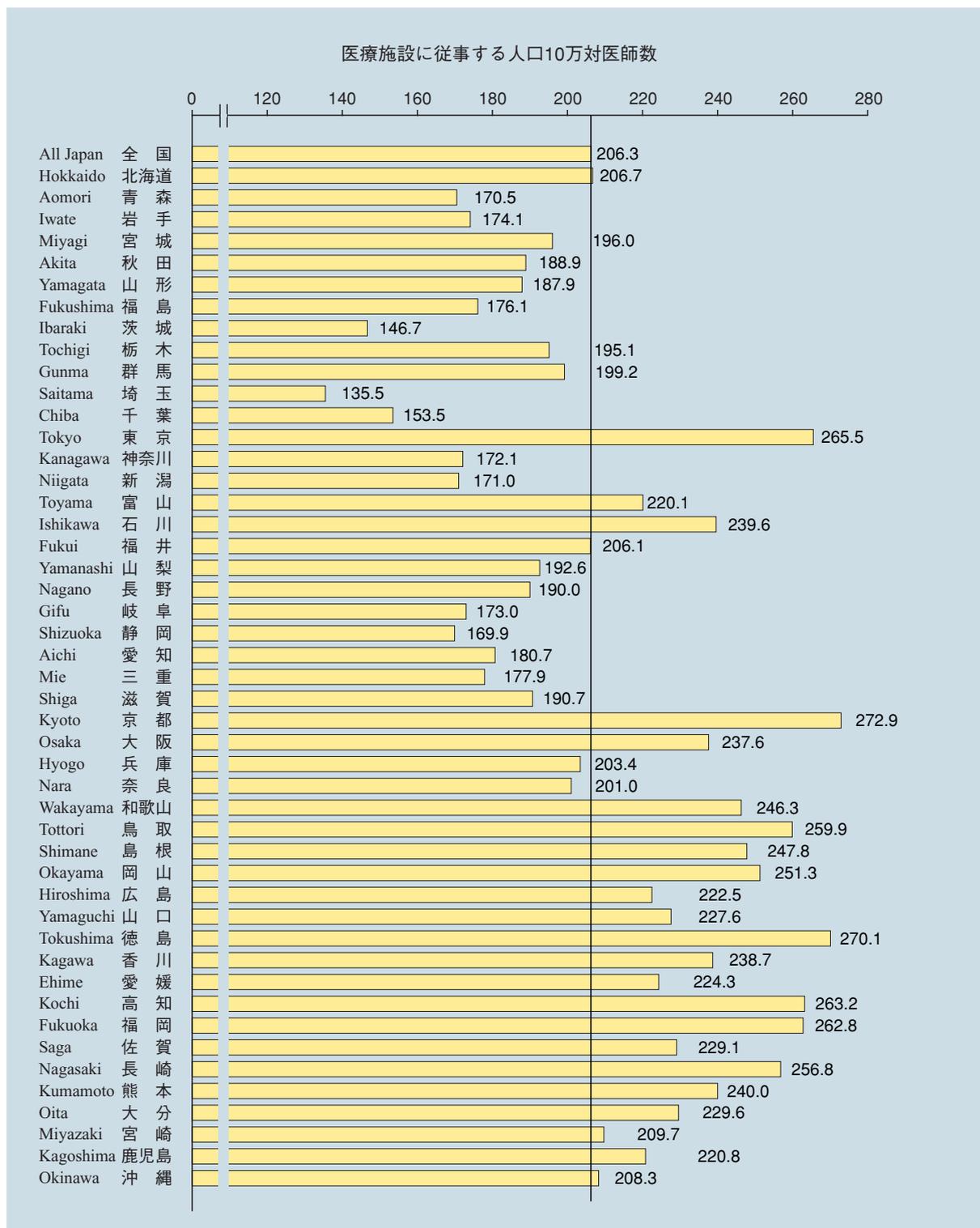


注：入学定員（医学部医学科）は文部科学省調べ。
（定員と募集人員が相違する場合には募集人員を引用した。）

（医師・歯科医師・薬剤師調査）
（Survey of Physicians, Dentists and Pharmacists）

人口10万対医師数は京都、徳島、東京などが多い

3-2 都道府県（従業地）別にみた医療施設に従事する人口10万対医師数 ー平成18年ー
Number of physicians practicing in health care facilities per 100,000 population by prefecture, 2006

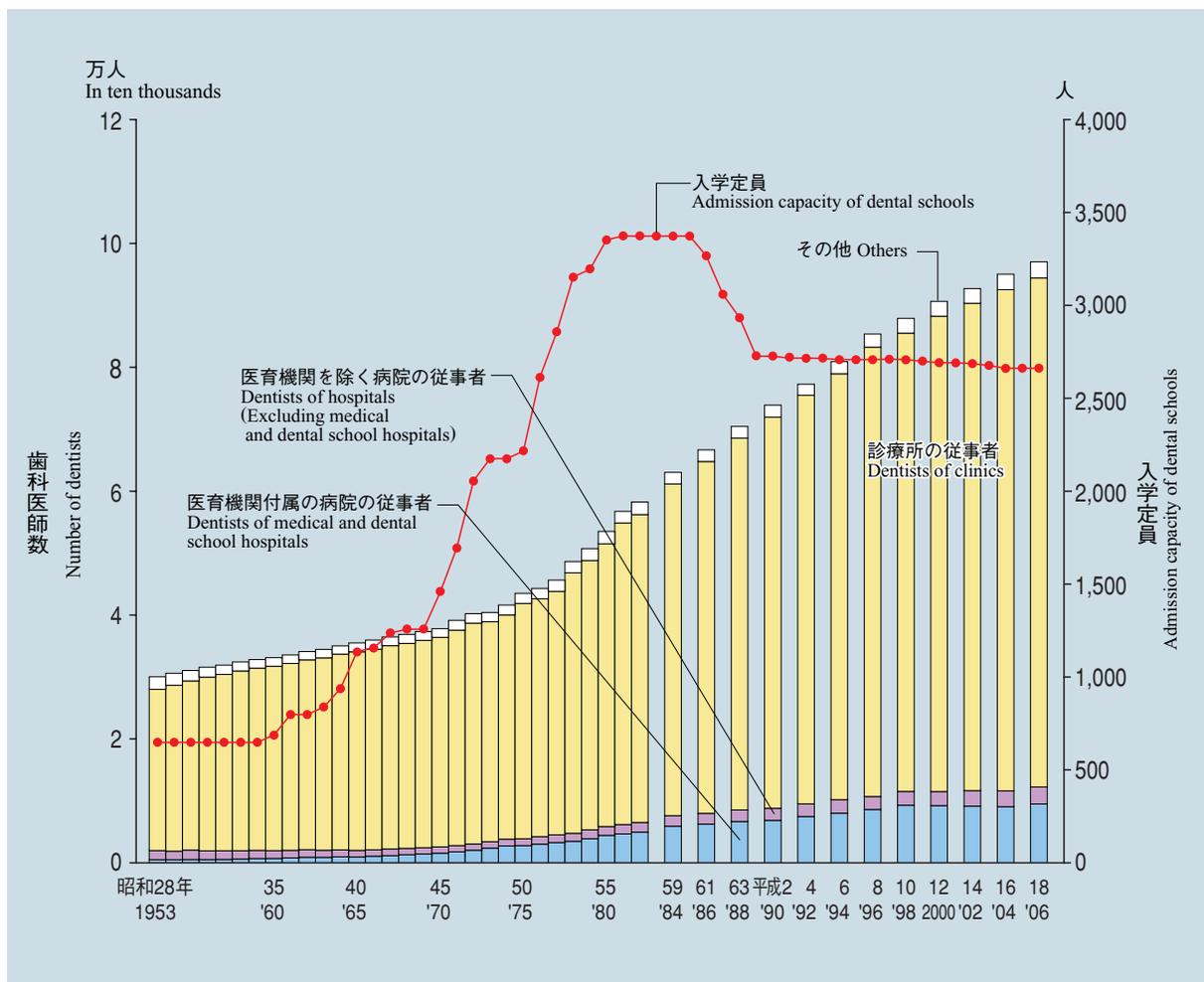


(医師・歯科医師・薬剤師調査)
(Survey of Physicians, Dentists and Pharmacists)

平成18年の歯科医師数は9万7198人、
診療所の従事者で増加傾向

3-3 歯科医師数と大学歯学部の入学生定員の年次推移

Trends in the number of dentists and admission capacity of dental schools, 1953-2006

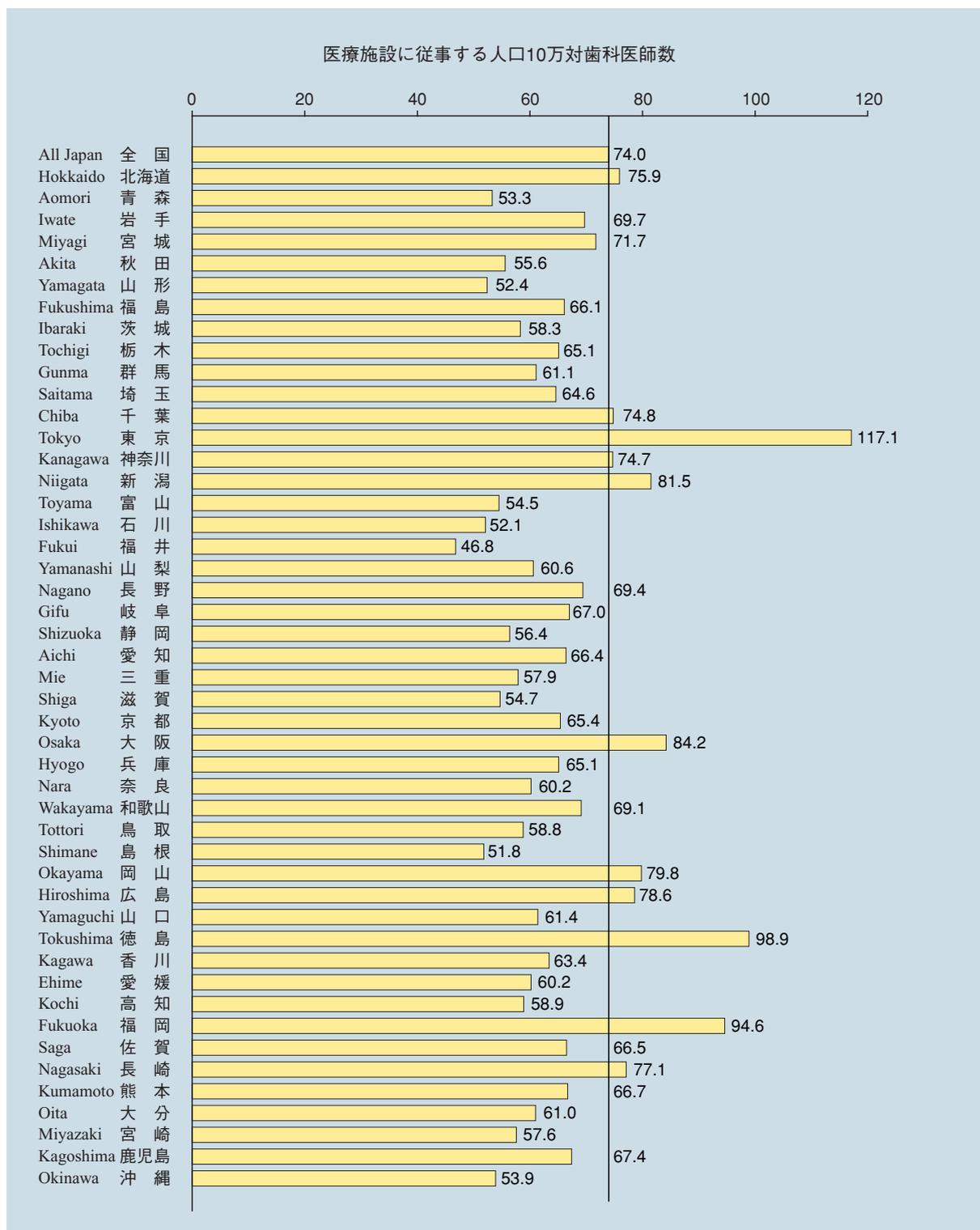


注：入学定員（歯学部歯学科）は文部科学省調べ。
（定員と募集人員が相違する場合には募集人員を引用した。）

（医師・歯科医師・薬剤師調査）
（Survey of Physicians, Dentists and Pharmacists）

人口10万対歯科医師数は東京が最も多い

3-4 都道府県（従業地）別にみた医療施設に従事する人口10万対歯科医師数 —平成18年— Number of dentists practicing in health care facilities per 100,000 population by prefecture, 2006

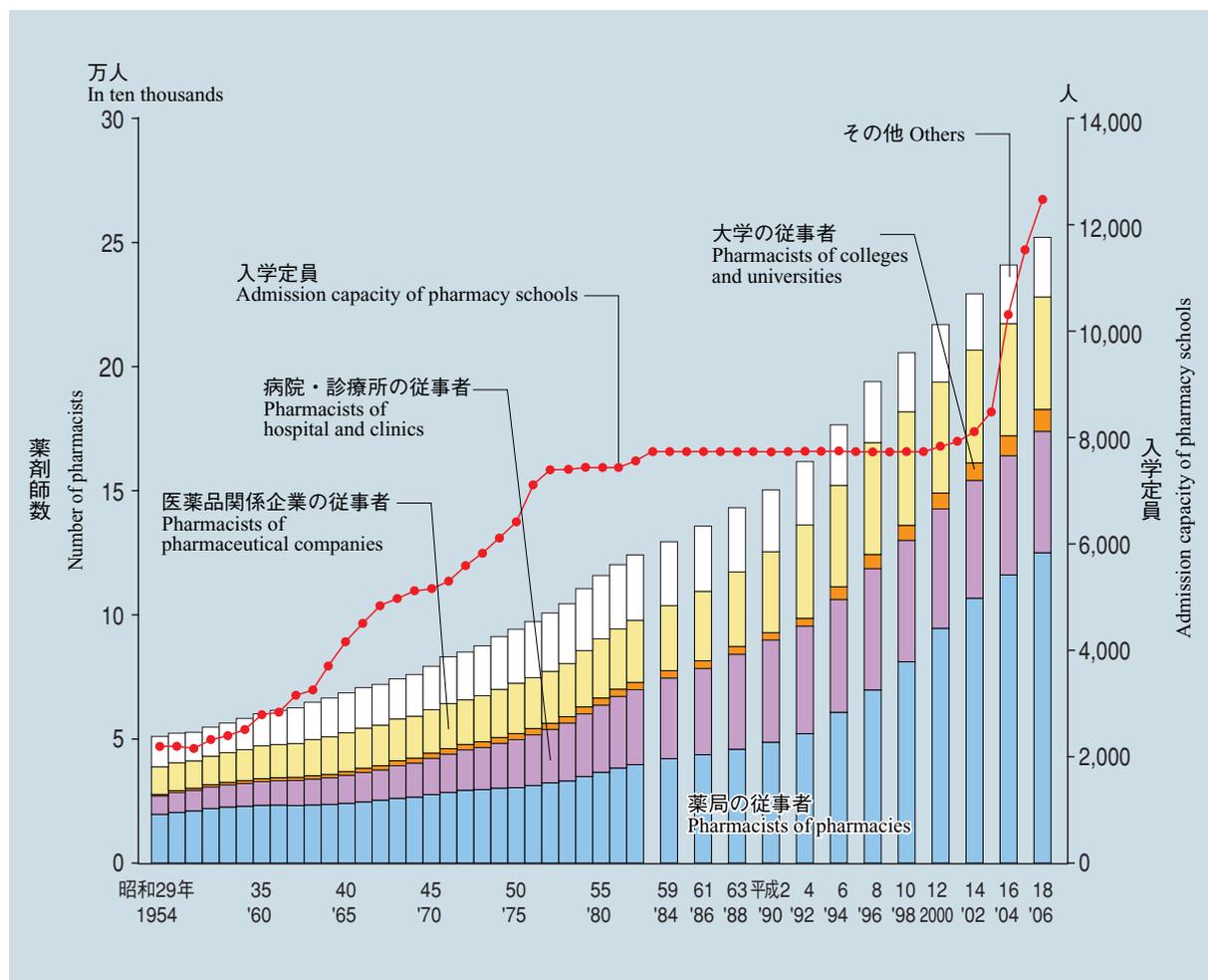


(医師・歯科医師・薬剤師調査)
(Survey of Physicians, Dentists and Pharmacists)

平成18年の薬剤師数は25万2533人、薬局及び大学の従事者で増加傾向

3-5 薬剤師数と大学薬学部の入学定員の年次推移

Trends in the number of pharmacists and admission capacity of pharmacy schools, 1954-2006

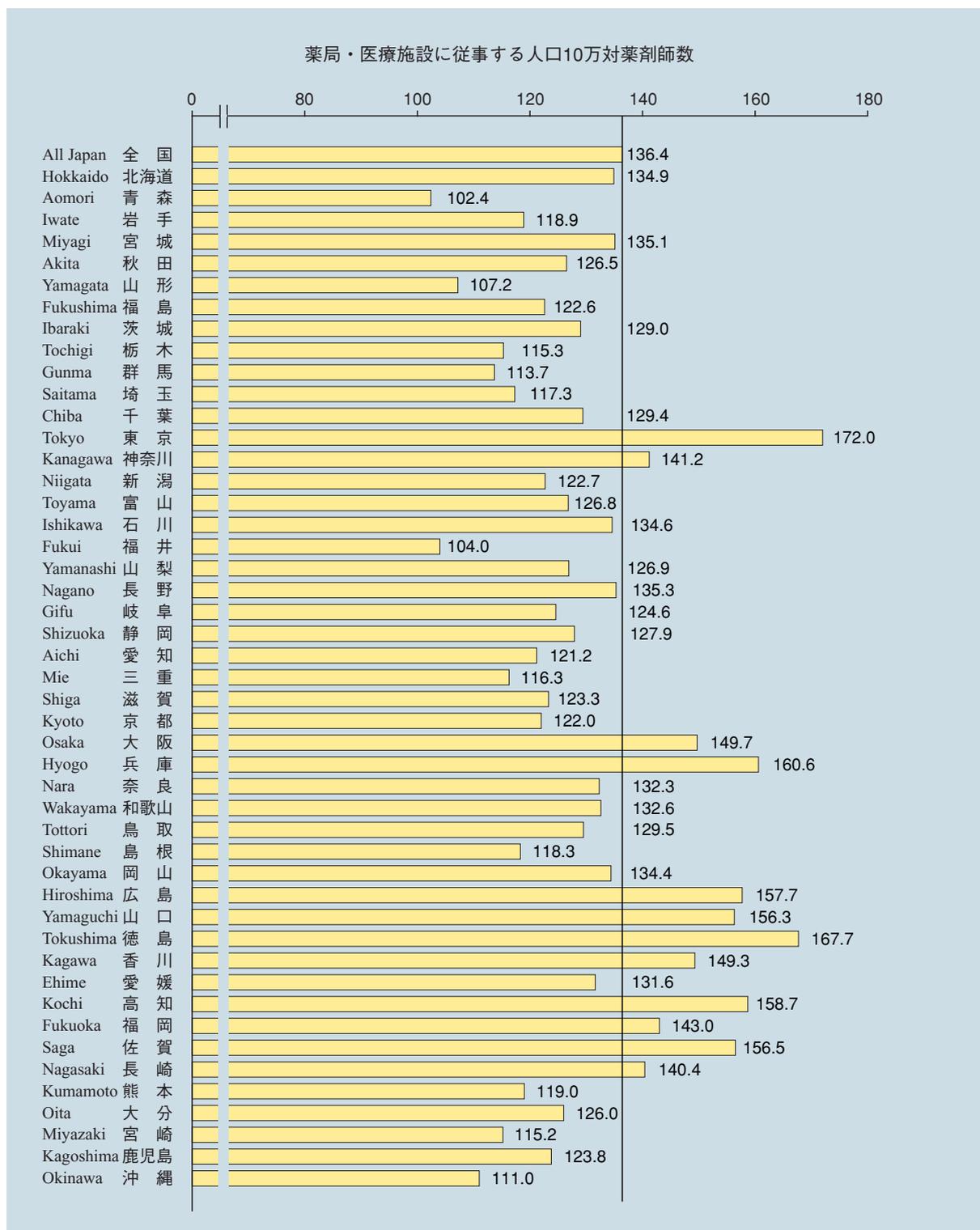


注：入学定員は文部科学省調べ。
(定員と募集人員が相違する場合には募集人員を引用した。)

(医師・歯科医師・薬剤師調査)
(Survey of Physicians, Dentists and Pharmacists)

人口10万対薬剤師数は東京、徳島が多い

3-6 都道府県（従業地）別にみた薬局・医療施設に従事する人口10万対薬剤師数 —平成18年— Number of pharmacists practicing in pharmacies or health care facilities per 100,000 population by prefecture, 2006

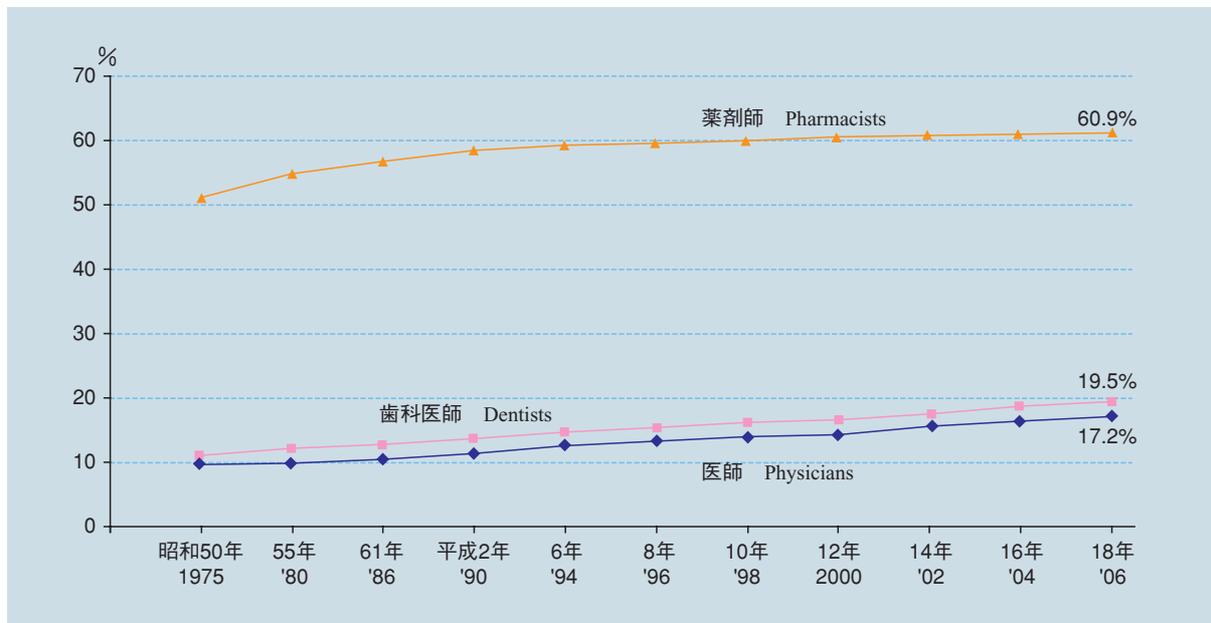


(医師・歯科医師・薬剤師調査)
(Survey of Physicians, Dentists and Pharmacists)

薬剤師では女性の割合が6割

3-7 医師・歯科医師・薬剤師数に占める女性の割合の年次推移

Trends in the proportion of female of physicians/dentists/pharmacists, 1975-2006

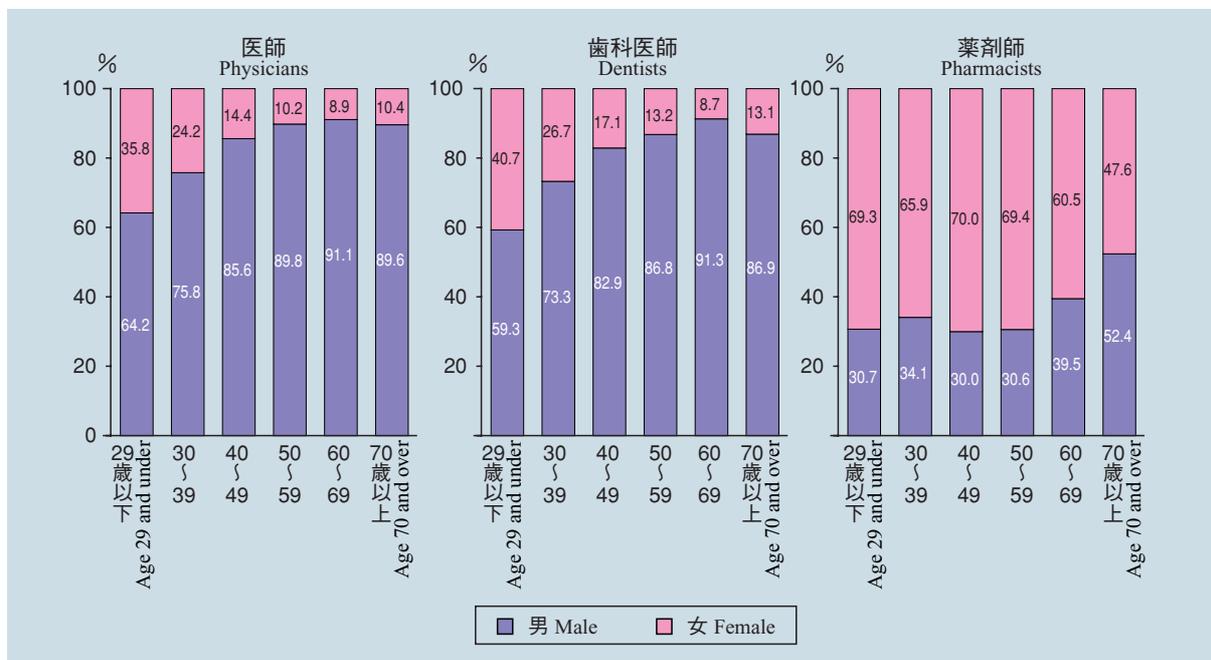


(医師・歯科医師・薬剤師調査)
(Survey of Physicians, Dentists and Pharmacists)

医師、歯科医師では29歳以下で女性の割合が高くなっている

3-8 年齢階級別にみた医師・歯科医師・薬剤師数の性別構成割合 —平成18年—

Male/female proportion of physicians/dentists/pharmacists by age group, 2006

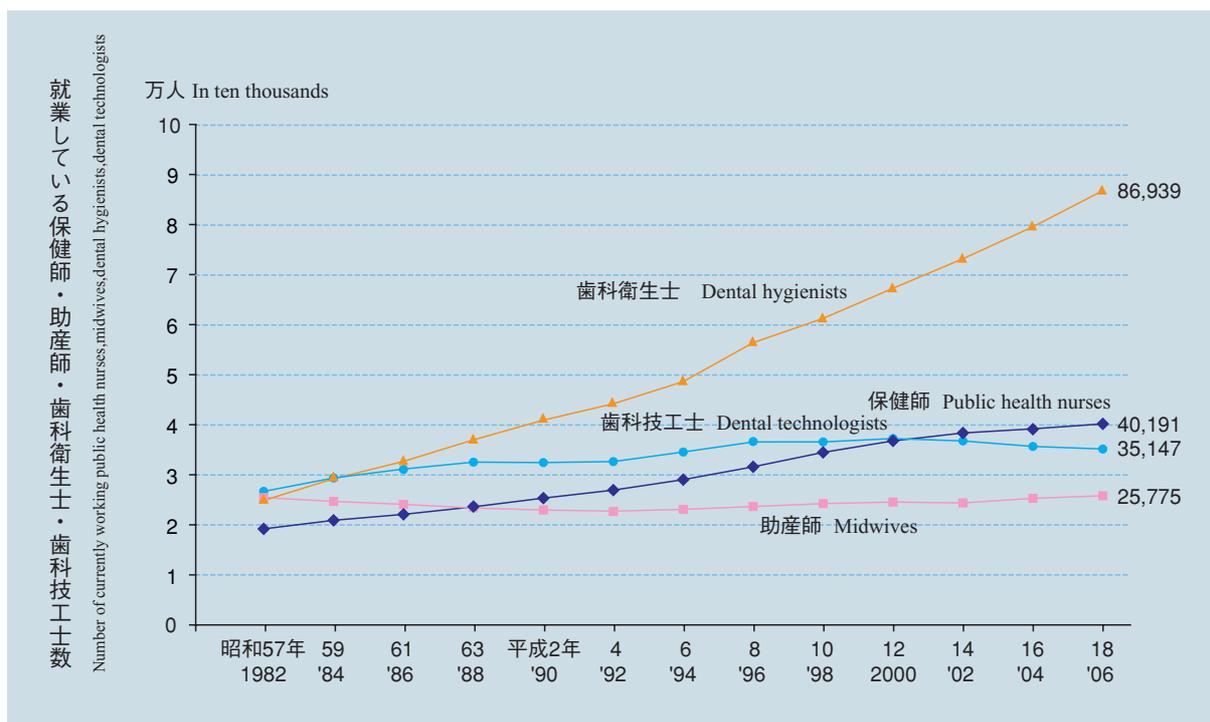
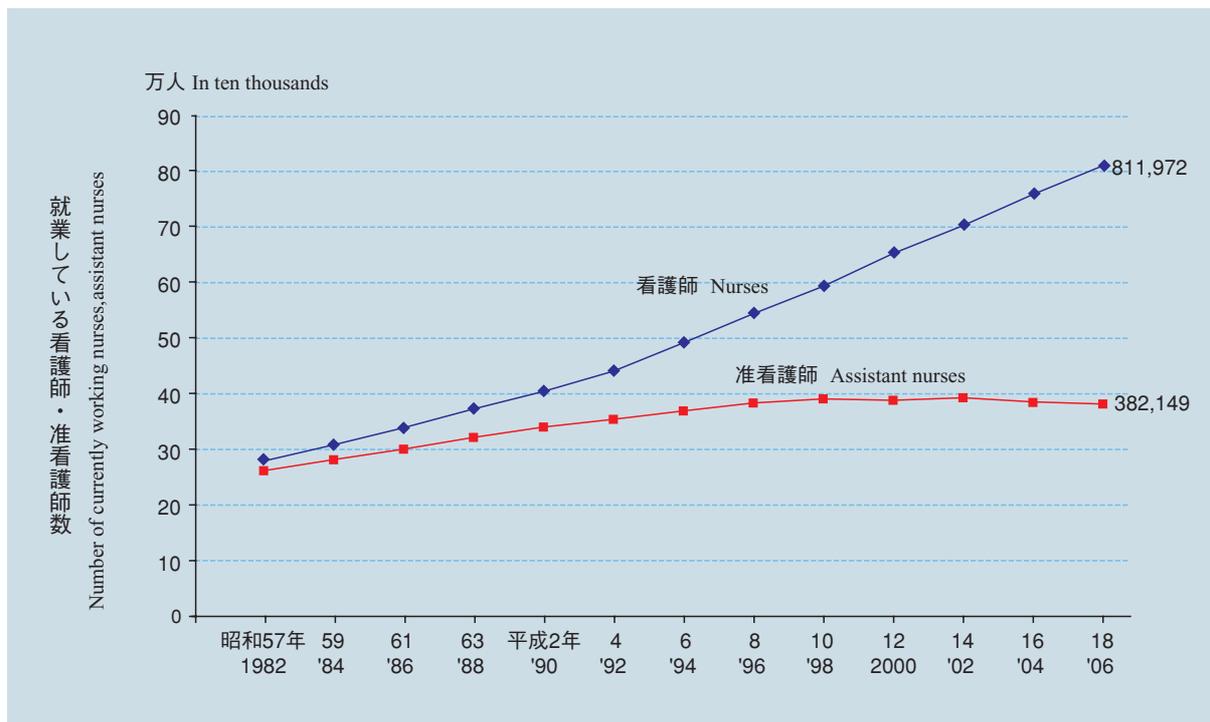


注：医師及び歯科医師については医療施設に従事する者、
薬剤師については薬局・医療施設に従事する者の数値である。

(医師・歯科医師・薬剤師調査)
(Survey of Physicians, Dentists and Pharmacists)

看護師、歯科衛生士は増加

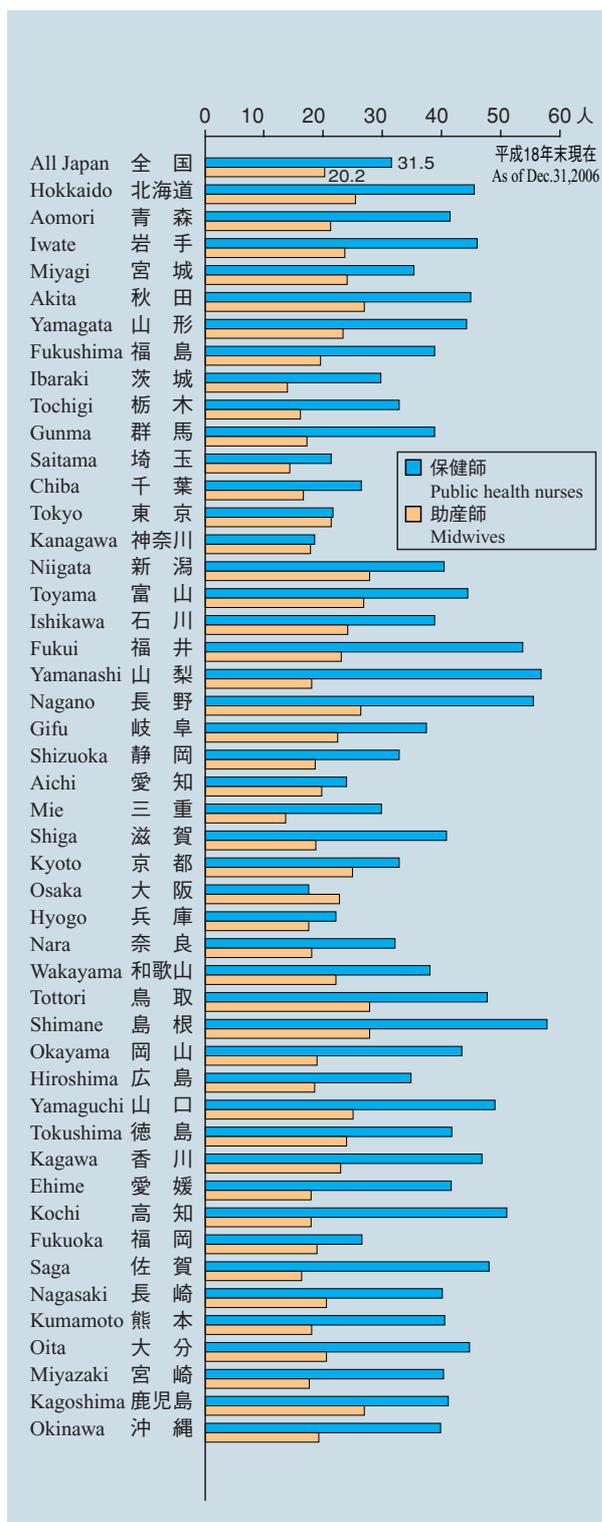
3-9 就業保健師・助産師・看護師・准看護師・歯科衛生士・歯科技工士数の年次推移
Trends in the number of currently working public health nurses/midwives/nurses/assistant nurses/dental hygienists/dental technologists, 1982-2006



(衛生行政報告例)
(Report on Public Health Administration and Services)

人口10万対看護師数は高知県が最も高い

**3-10 都道府県別にみた人口10万対
就業保健師数・助産師数 —平成18年—
Number of currently working public
health nurses/midwives per 100,000
population by prefecture, 2006**

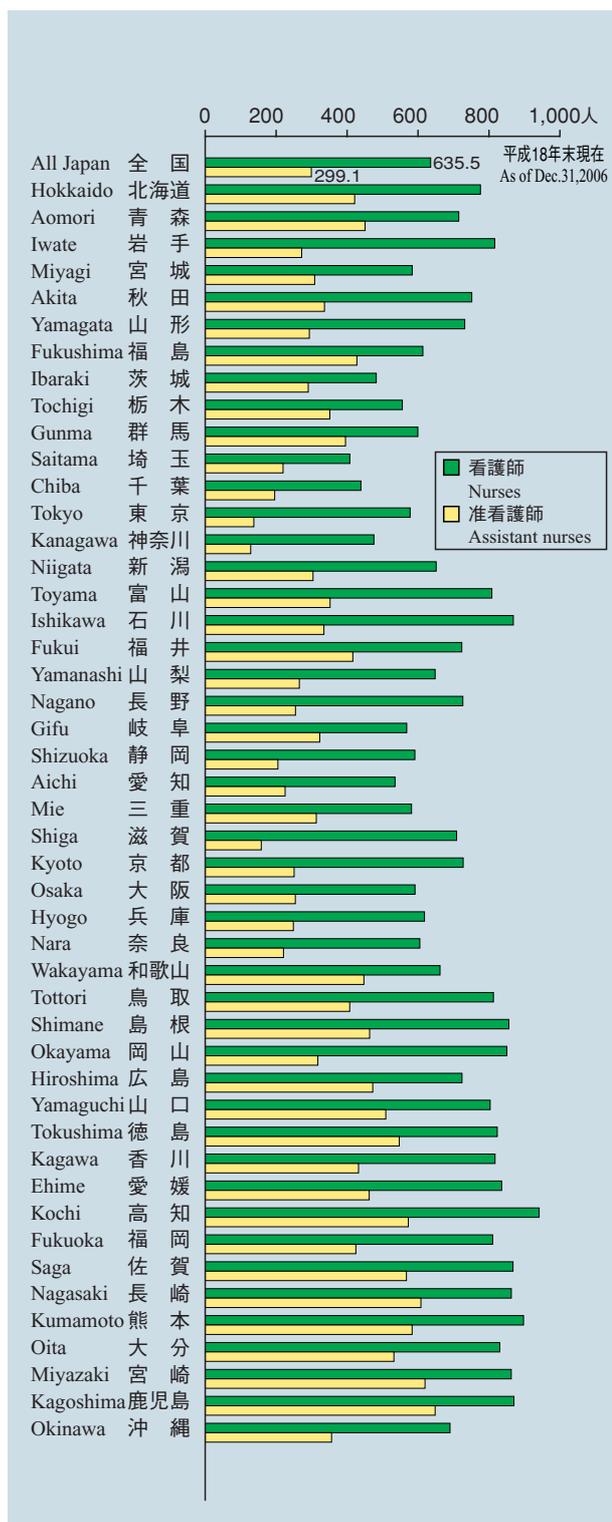


注：数値は統計表総覧1を参照。

(衛生行政報告例)

(Report on Public Health Administration and Services)

**3-11 都道府県別にみた人口10万対
就業看護師数・准看護師数 —平成18年—
Number of currently working nurses/
assistant nurses per 100,000 population
by prefecture, 2006**



注：数値は統計表総覧1を参照。

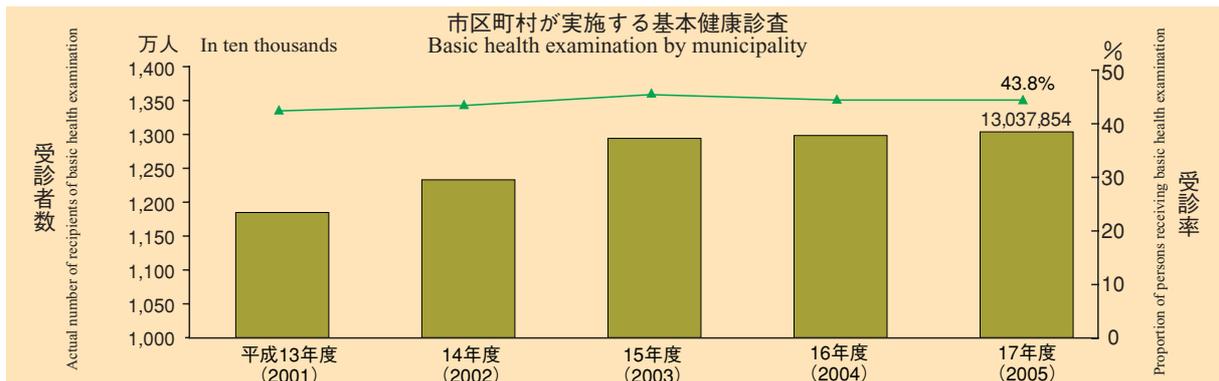
(衛生行政報告例)

(Report on Public Health Administration and Services)

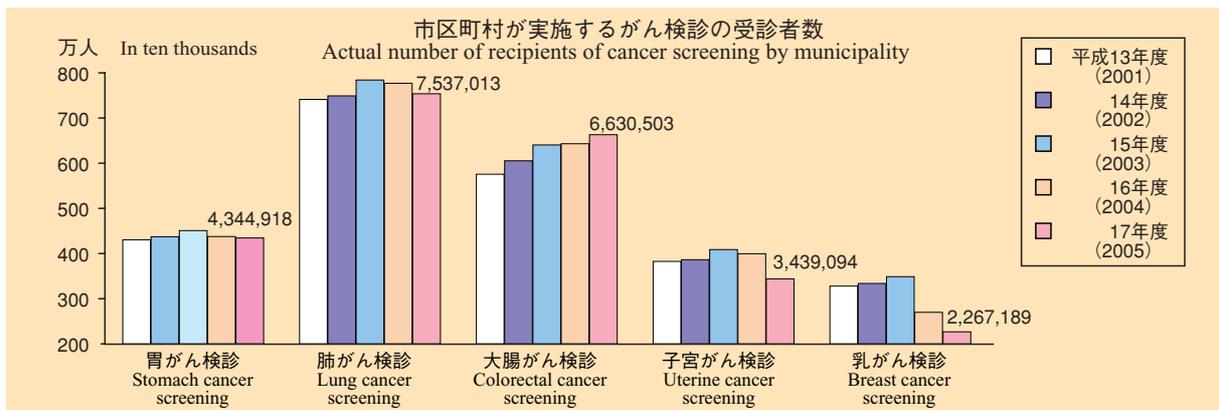
4. 保健事業の動向 Public Health Services

基本健診受診率は横ばい
平成17年度は子宮がん検診・乳がん検診の受診率は前年度に比べて上昇

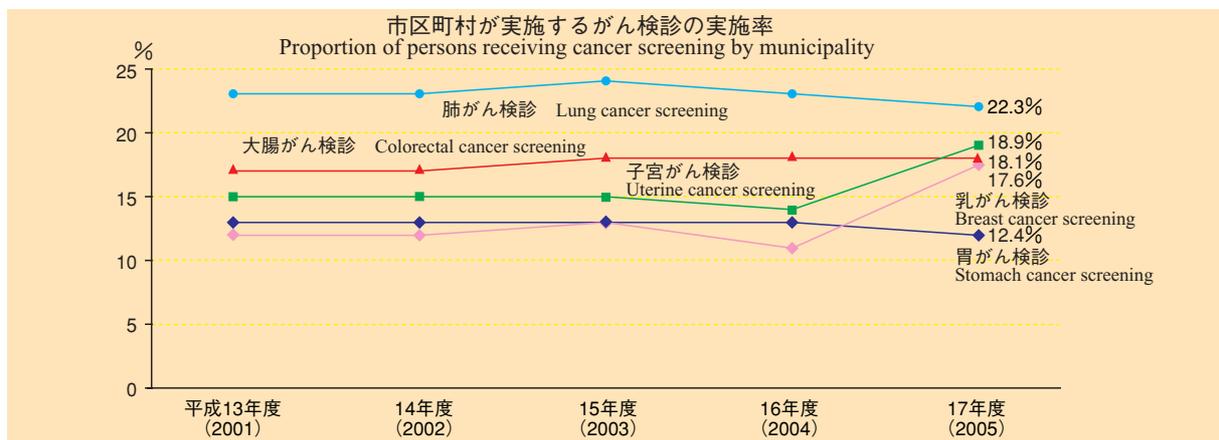
4-1 基本健康診査及びがん検診受診者数・受診率の年次推移
Trends in recipients of basic health examinations and cancer screening, 2001-2005



注：「基本健康診査」とは、当該市区町村の区域内に居住地を有する40歳以上の者を対象として行う問診、理学的検査、血圧測定、検尿、循環器検査、貧血検査、肝機能検査、腎機能検査、血糖検査及びヘモグロビンA1c検査をいう。



注：がん検診は、「がん予防重点健康教育及びがん検診実施のための指針（平成10年3月老人保健課長通知）」に基づき実施されている。
 ・胃がん検診、肺がん検診、大腸がん検診の対象は、40歳以上の男女
 ・子宮がん検診 対象：平成15年度以前 30歳以上の女、16年度以降 20歳以上の女 受診間隔：平成15年度以前年に1度、16年度以降2年に1度
 ・乳がん検診 対象：平成15年度以前 30歳以上の女、16年度以降 40歳以上の女 受診間隔：平成15年度以前年に1度、16年度以降2年に1度



注：受診率＝（受診者数／対象者数）×100
 平成18年度「がん予防重点健康教育及びがん検診実施のための指針」の改正に伴い、平成17年度から「子宮がん」及び「乳がん」の受診率の算出方法を変更した。
 平成17年度の子宮がん及び乳がん検診受診率＝（前年度の受診者数＋当該年度の受診者数－2年連続の受診者数）／（当該年度の対象者数）×100
 （地域保健・老人保健事業報告）

<参考>

平成19年4月施行の「がん対策基本法」に基づく「がん対策推進基本計画」では、今後5年以内にがん検診受診率を50%以上に引き上げることを目標にしている。